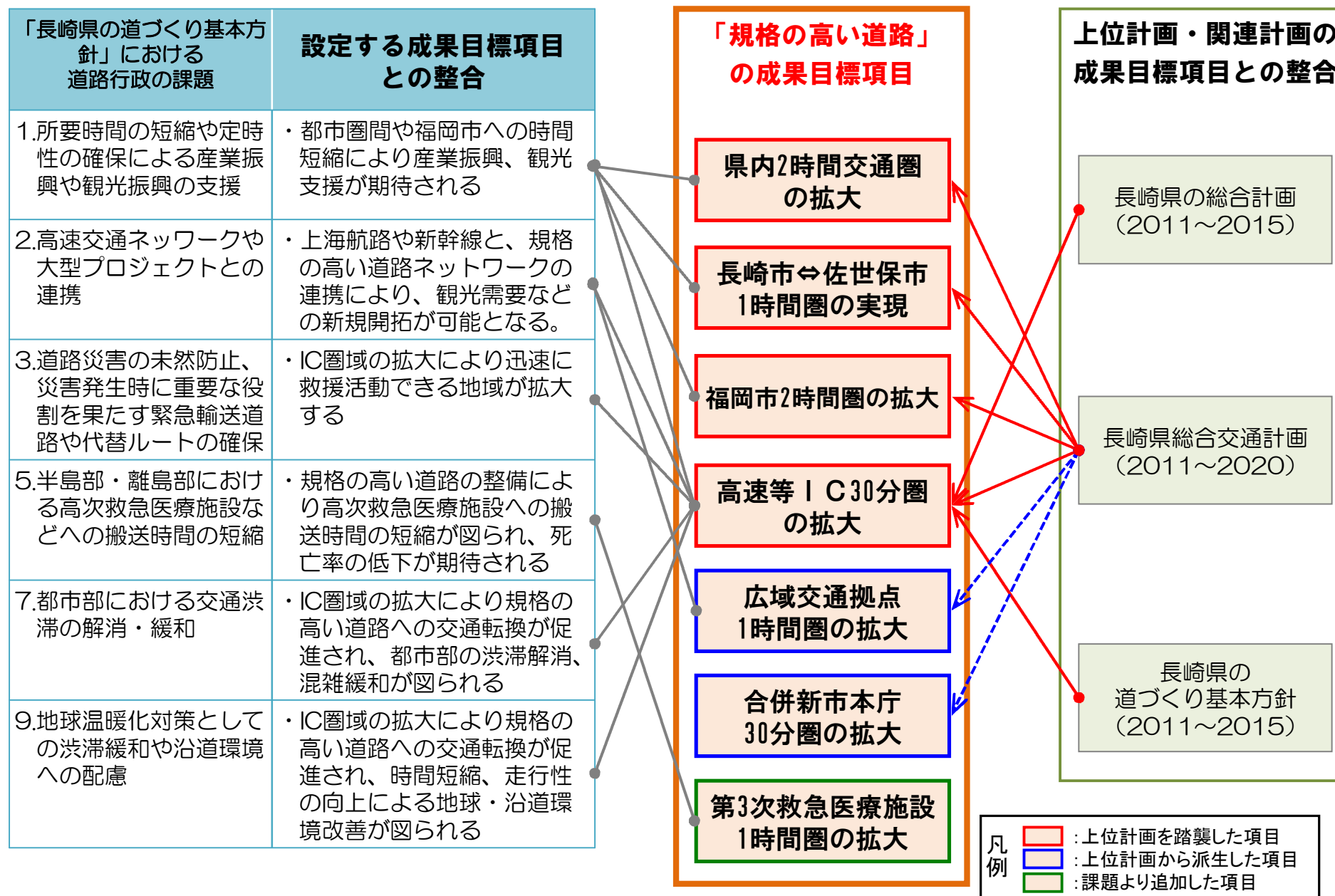


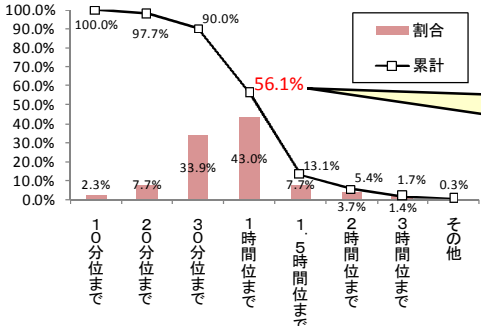
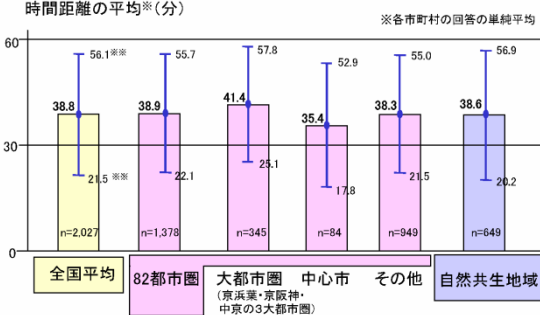
「規格の高い道路」の成果目標項目



設定時間の考え方(1/2)

評価目標項目	考え方
県内 2時間 交通圏の拡大	●長崎県内における日常生活、ビジネス、観光などの日帰り行動圏として2時間を設定する。 ●日帰り圏域の移動時間:全国平均 約2時間37分 ※新しい国のかたち「二層の広域圏」を支える総合的な交通体系最終報告書(H17.5)市町村アンケートより(二層の広域圏の形成に資する総合的な交通体系に関する検討委員会) ●目的施設別許容時間:都市型観光、自然観光 2時間 ※これからの道づくりアンケート調査(国土交通省九州地方整備局)
長崎市⇔佐世保市 1時間 圏の実現	長崎県の2大都市である長崎市、佐世保市間については、日常生活、ビジネス、観光などの面で繋がりが強く、さらなる連携強化が必要と考えられるため、半日行動圏として1時間を設定する。
福岡市 2時間 圏の拡大	●長崎県の中心都市及び主要観光地と福岡市間における日常生活、ビジネス、観光などの日帰り行動圏として2時間を設定する。 ●日帰り圏域の移動時間:全国平均 約2時間37分 ※新しい国のかたち「二層の広域圏」を支える総合的な交通体系最終報告書(H17.5)市町村アンケートより(二層の広域圏の形成に資する総合的な交通体系に関する検討委員会) ●目的施設別許容時間:都市型観光、自然観光 2時間 ※これからの道づくりアンケート調査(国土交通省九州地方整備局)
高速等IC 30分 圏の拡大	アンケート調査結果や新規工場の立地動向より、30分を設定する。 ●自宅から高速道路ICまでの許容時間 ・半数以上が許容できている時間⇒30分 ●高速道路ICからの距離別工場立地割合(H22) ※工場立地動向調査H22 ・20km以内が大部分(約9割)を占める。時間換算すると30～40分 ※これからの道づくりアンケート調査H14.(国土交通省九州地方整備局)

設定時間の考え方(2/2)

評価目標項目	考え方
広域交通拠点 1時間圏の拡大	観光・サービス業の空港までの許容時間として、半数以上の回答者が許容できるとしている1時間を設定する。 ●観光・サービス業の空港までの許容時間  ※これからの道づくりアンケート調査H14(国土交通省九州地方整備局)
合併新市本庁 30分圏の拡大	新市を日常生活圏（通勤、買物等の普段の生活で移動する地域）として30分を設定する。 ●日常生活圏の移動時間【全国平均 約39分】  ※新しい国のかたち「二層の広域圏」を支える総合的な交通体系最終報告書(H17.5)市町村アンケートより(二層の広域圏の形成に資する総合的な交通体系に関する検討委員会)
第3次救急医療施設 1時間圏の拡大	カーラー救命曲線より、多量出血の救命の可能性が出てくる1時間を設定する。 ●カーラー救命曲線 